

V. アプローチ困難な腫瘍へのPDT

末梢型肺癌に対する治療

肺癌

癌による死亡の中で最も高い割合
末梢型肺癌

外科手術を行うリスクが高く
現状では治療法がない。

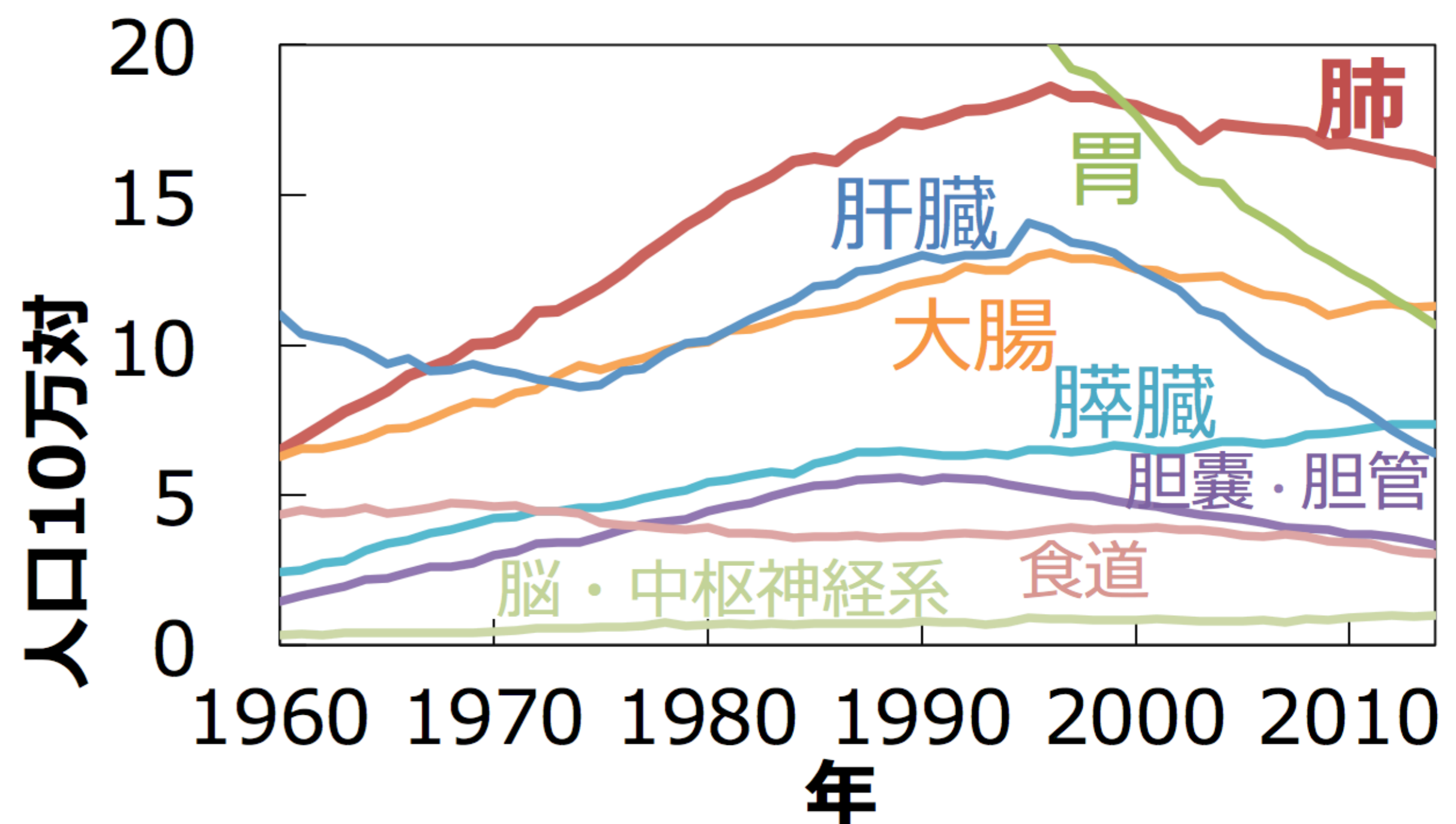


図 部位別がん死亡率の推移 (男女計)¹

悪性脳腫瘍に対する治療

脳幹グリオーマ

小児期に多く発症する脳腫瘍²。

脳幹は生命維持機能を有する重要な器官であるため、
外科手術が困難であり現状では治療法がない。

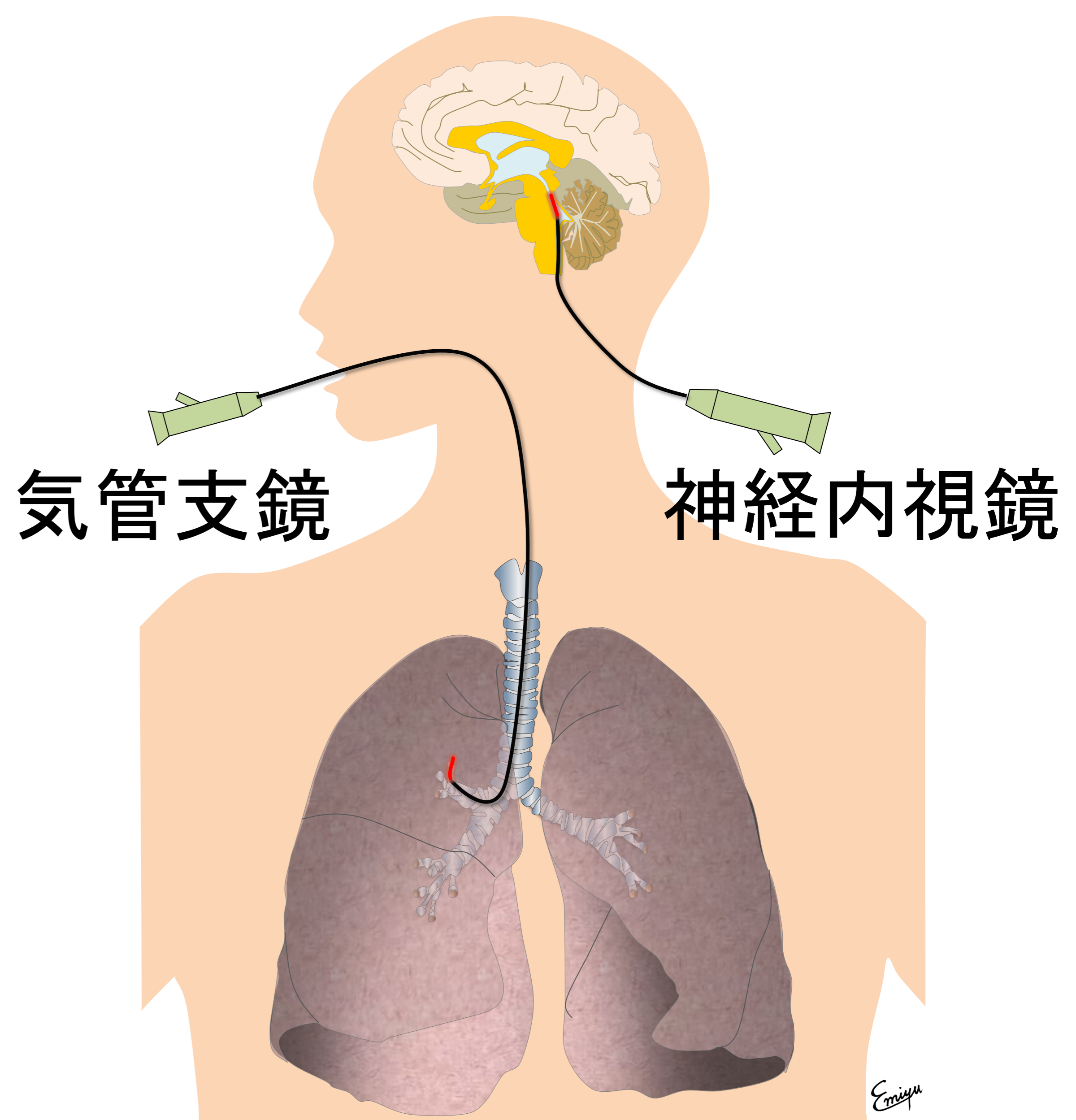
生存期間中央値は71週と非常に深刻な疾患³。

細径プローブの開発

細い末梢肺の気管支や、
脳幹に沿った細い経路にも挿入し
光照射による治療が可能。



図 開発した細径プローブの概観



**アプローチ困難な腫瘍へ光照射が可能になれば
治療が困難であった癌に対するPDT治療が実現できます。**

1. 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
2. H. J. Iloffmann *et al.*, Neurosurgery, New York, pp. 1183-1194, 1996.
3. 山口智 *et al.*, 脳神経外科ジャーナル, vol. 10, pp. 783-788, 2001.